



人形たち



茶碗やぐい呑み



色鮮やかな曳山



暖炉の前でお仕事



あいこのサイン



鯛やま



橋村 あいこ
Aiko Hashimura

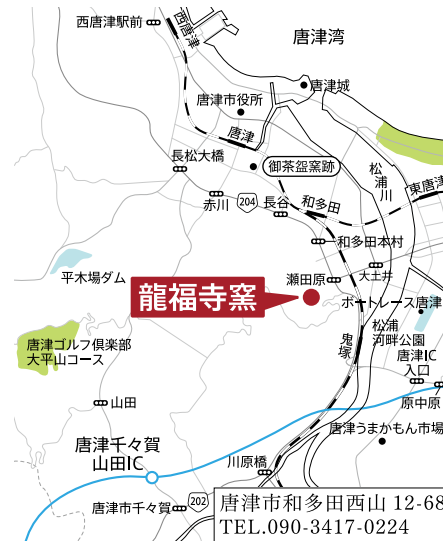
30代に焼き物が楽しくてコミュニティセンターに通ったことをきっかけにご主人に出会う。ご主人が窯をつくり、開窯・独立。作陶歴30年。

- 駐車場 (3台)
- 作業風景見学
- 体験教室
- 要連絡

窯印・作家印▶

龍福寺窯

あ



「こんな時代だからこそ、安価でユーモアのある作品を作りたい。」そう話す愛子さんの表情は愛らしい少女のようであった。他の作家さんがつくらないもの、自分のオリジナリティを求めて、愛子さんのものづくりは続く。

コミュニティセンターで出会ったご主人の遺志を継いで、作陶を続ける愛子さん。ご主人は、茶器や茶碗などが得意であったが、愛子さんは造形物が得意で、唐津焼の人形を中心に作品をつくっていった。最初に作品のイメージをつかって作業に入るが、土の堅さによって過程の中で変化してくる。土も釉薬も手作りにこだわりの力を入れていく。自然を相手にしているからこそ、そんな変化も受け入れながら作品を仕上がりを楽しみに待つ。

「こんな時代だからこそ、安価でユーモアのある作品を作りたい。」そう話す愛子さんの表情は愛らしい少女のようであった。他の作家さんがつくらないもの、自分のオリジナリティを求めて、愛子さんのものづくりは続く。

安価でユーモアのある作品を。

唐津市和多田西山 12-68
TEL.090-3417-0224